



PLUS ULTRA

# HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 平成29年9月30日発行



▲関東大会出場の選手たち



◀インターハイ出場の選手たち

▼関東大会出場の水泳部



平成29年

# 9/30

# 第55号

○「できた人」 学校長 岡部 宣男 .....	2ページ
○平成30年度入試要項 .....	3ページ
○関東大会 .....	4~5ページ
○高校総体・総文祭・他 .....	6~7ページ
○本校舎トピックス .....	8ページ
○富田キャンバストピックス .....	9ページ
○SSH活動報告 .....	10ページ
○白鷗大学だより .....	11ページ
○PTAだより・一日体験学習 .....	12ページ



# できた人

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

来年度、高校生は3学年すべての生徒が2000年以降の生まれになります。今後の社会の担い手として生徒たちが生きていく21世紀は、地球環境の変化、人口増加に伴う食糧不足、各種資源の枯渇、絶えない内乱やテロなど、様々な問題が山積しています。その上、社会のグローバル化はさらに進行し、IT技術やAIなどもますます進歩していくため、職業のあり方や働き方などが大きく変化することが予測されます。

そんな中、高校教育にも大きな変化が続きます。2020年度には現在のセンター試験に替わる「大学入学共通テスト」が、2022年度からは新学習指導要領が年次進行で実施されます。今後は「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力などの育成」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養」などの、いわゆる「21世紀型の資質・能力」の育成が求められるようになるのです。

平成27年度に創立100周年を迎えた本校も、こうした高校教育の流れを汲み、そして、これからの社会を見据え、学校改革を実施することにしました。主たる改革は、本校舎の普通、総合選択、商業の各コースの募集を停止し、上級学校（大学、短大、専門学校）

への進学を目指した教育を行う総合進学コースの開設です。

総合進学コースは、文理進学科目に準じ、進学に必要な基礎科目の学力を確実に身に付けるとともに、二次次からは希望の分野（子ども教育、アスリート、情報システム、ビジネス、文理教養）に分かれて選択科目も履修します。朝学習、進学補習、模擬試験、資格試験などを通して、三次次には多様な入試（一般入試、推薦入試、AO入試など）に対応した進路指導を実施し、新しい時代の中で、主体的・対話的な深い学びの視点から、質・量ともに高い学力の実現を目指していきます。



TV放送を視聴する中学生（一日体験学習）

さて、ここ数年の生徒を観察していると、生徒同士による学び合いが減ってきているように感じま

す。少子化や子どもの遊びの変化から、子どもたちが野外で遊ぶ姿を見かけることもなくなっ



空から望む本校舎

いました。かつて、子どもたちは、親の干渉なしで大勢で一緒に遊んで遊び、その遊びを通して先輩に対する態度を学び、後輩に対する心を養いました。つまり、それぞれの年齢に応じた課題を子ども同士の交流の中で見つけ、克服していったのです。しかし、そうした経験が少ない今の高校生は、互いに学び合おうと考えないのかもしれない。新学習指導要領の中には「他者と協働し新しい価値を創造する力」「他者と支え合ってよりよく生きるための思いやりや優しさ」などの言葉があります。生徒同士の学び合い、さらには人々との関わりが必要なと感じさせる言葉です。

ところで、ある種の才能が一定レベルを超えると、人々はその人を「できる人」と賞賛します。しかし、その人が人格的にも優れているとは限りません。人間の価値は才能のみではなく、社会の中でいかにたくましく生き、いかに周囲の人々に敬愛されるかです。気配り、心遣い、他人の心の痛みを理解できる、つまり「できた人」として行動していけるかということなのです。「できる人」と「できた人」、たった一字違いでも、その意味は著しく違います。

「人間一生勉強」という言葉があります。これは「できる人」に対する言葉ではありません。遠い道のりであっても、一人ひとりが「できた人」を目指しなさいという励ましの言葉なのです。

生徒の皆さん、多くの個性と触れ合ってください。自然を愛し、様々な体験を積んでください。そして、道義への感覚鋭い人間であってください。「できる生徒」である前に、人柄のよい「できた生徒」であることを、よき選手である前によき生徒であることを心掛けてください。



## 入試相談会 (中学校3年生と保護者対象)

	本校舎	富田キャンパス	埼玉会場
期日	11月4日(土) 11月11日(土) 12月2日(土)	11月3日(金) 11月26日(日)	10月23日(月) 市民プラザかぞ 17:00~20:00 10月26日(木) ワークヒルズ羽生 17:00~20:00 11月9日(木) 市民プラザかぞ 17:00~20:00 11月23日(木) ワークヒルズ羽生 10:00~15:00 11月25日(土) 市民プラザかぞ 10:00~15:00
時間	9:00~12:30	9:00~12:30	

※本校の入試に関する質問に応じますので、ご都合のよい日時においでください。事前のお申し込みは不要です。この件についてのお問い合わせは各校舎に連絡するかEメールをお願いします。✉ nyushi@hakuoh.ed.jp

平成30年度入試要項が下記のように決まりました。詳細につきましては本校ホームページにアクセスしていただくか、直接お問い合わせください。  
なお、今年度も左記の通り入試相談会を実施します。お気軽にご来校ください。

# 平成30年度 入試要項決まる

## 平成30年度入試要項

	試験別	コース(入学校舎)	試験日	試験教科	出願期間	合格発表
第1回入試	学業特待生入試(併願)	特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。	平成30年 1月5日(金)	国・社・数・理・英	平成29年 12月5日(火)~14日(木) (土曜・日曜は除く)	平成30年 1月10日(水)
	特別進学コース入試(単願)	特別進学コース(富田キャンパス) 不合格者については、試験の得点により学業特待生入試に換算して判定します。		国・社・数・理・英 面接		
	単願推薦入試	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)		国・数・英・面接		
	運動部・文化部特待生入試(単願)	文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)	平成30年 1月5日(金) 平成30年 1月6日(土) 実技			
第2回入試	学特ランクアップ入試(併願)	特別進学コース(富田キャンパス) 進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 合格者は、希望により本校舎の文理進学コース、または総合進学コースから選択して入学手続きができます。	平成30年 1月27日(土)	国・数・英	平成30年 1月15日(月)~19日(金)	平成30年 2月1日(木)
	一般入試(併願)	進学コース(富田キャンパス) 文理進学コース(本校舎) 総合進学コース(本校舎)	国・数・英・面接			

一日体験学習に、  
生徒2954名  
保護者1849名  
が来校しました。

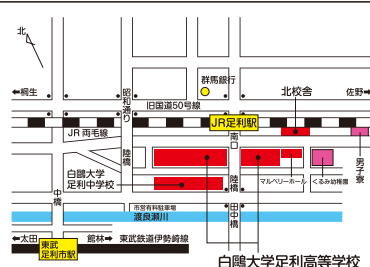
8月26日(栃木県内の方)  
27日(栃木県外の方)  
〈於 本校舎・富田校舎〉



### 白鷺大学足利高等学校富田キャンパス

- JR富田駅より徒歩3分
- 富田キャンパスへは東武伊勢崎線足利駅・館林駅・太田駅および尾島方面より登下校時にスクールバスを運行します。
- 古河・結城方面および葛生方面からは富田キャンパスと本校舎へ登下校時にスクールバスを運行します。

〒329-4214 栃木県足利市多田木町1067  
TEL.0284-91-2633



### 白鷺大学足利高等学校本校舎

- JR足利駅南口より徒歩1分
- 東武線足利駅より徒歩10分

〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2  
TEL.0284-41-0890(代)  
HPアドレス: <http://hakuoh.jp/>

# 関東大会

インターハイへ向けて

11部 175名が出場

## ボクシング部 女子学校対抗初優勝

平成29年度第59回関東ボクシング大会が、6月2～5日、前橋市日吉体育館で開催され、男女の10階級で熱戦が繰り広げられました。本校からは、男子4名、女子4名の8名が出場しました。



学校対抗優勝チームのメンバー

その結果、男子M級普2の1タンビールフアラハン君（境南中）が3位、LF級普3の4酒井遥さんが（鴻巣吹上中）が優勝、F級総2の2上原花梨さん（足利三中）が3位、Fe級総1の1吉澤颯希さん（加須昭和）が優勝となり、女子は初の学校対抗優勝に輝きました。なお、女子は12月に鳥取県で開催される全日本女子高校ボクシング大会への出場が決定しており、さらに期待が膨らみます。

## 男子ソフトボール部 インターハイ選へ向けての課題

6月3・4日、東京都江戸川区にある江戸川の河川敷野球場にお



試合前の集合

いて関東高等学校ソフトボール大会が行われました。今回は県予選において不覚にも第1代表の座を奪われての出場となりました。1回戦の相手は地元東京代表の向上高等学校でした。先発投手として進3の1齊藤磨輝君（足利三中）が登板。ピッチング自体は悪くない出来でしたが、いつになく

## 水泳部 一泳入魂

7月22～24日、栃木県立温水プール館にて、第68回関東高等学校選手権水泳競技大会兼第85回日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会が開催されました。本校からは22名が出場して、インターハイ出場を目指して全員が一丸となり戦いました。その結果、文3の2高村光希君（明治中）が200m背泳ぎで5位入賞、文3

の3細澤知弘君（小山中）が100m自由形で4位入賞、1000m



出場した選手たち

バタフライで10位入賞を果たしました。また、文3の4松下侃太君（毛野中）が1000m・2000mバタフライで、高村君・細澤君・松下君・文3の2菊地秀幸君（毛野中）が400mメドレーリレーで、高村君・細澤君・松下君・普3の3島田恵輔君（大利根中）が400mフリーリレーで標準記録を突破し、インターハイ出場を決めました。インターハイでは、悔いのないレースができるよう、精一杯頑張ってきます。

守備に精彩を欠く試合となり、大量得点差で敗れるという結果となりました。来るインターハイに向けて、チームの状態を上げていかなければならないことを痛感させられる結果となりました。

## 女子バスケットボール部 悲願の勝

6月10・11日、千葉県船橋市で関東高等学校女子バスケットボール大会が開催されました。

1回戦の相手は、練習試合で何度か対戦し、大敗していた千葉英和高校でした。相手の特徴などを



関東大会出場の女子バスケットボールチーム

ビデオで確認し、対策をして試合に臨んだことで79対72で勝利することができました。2回戦は明星高校との対戦でした。試合の序盤から相手の落ち着いたプレイで徐々に点差を広げられ、残念ながら48対84で涙を呑むことになりま

## 体操部 課題を見出した大会

6月2～4日、茨城県の笠松運動公園体育館において関東高等学校体操競技・新体操大会が開催され、男子個人に進1の3秋田詠大君（足利二中）、女子個人に文2の2亀田雪乃さん（田沼東中）が出場しました。

関東大会という緊張感溢れる大きな大会で、秋田君が、6種目61・150点、亀田さんが、4種目39・100点の演技をすることが出来ました。

今回の結果を踏まえ、それぞれが減点のない安定した演技を目指し、新しい高度な技にも挑戦することで、さらに高得点を目指して精進するという課題を見出しました。



笠松運動公園体育館にて

## 女子ソフトテニス部

2季連続となる団体準優勝

6月2～4日、山梨県甲府市にある小瀬スポーツ公園テニス場で開催された関東高等学校ソフトテニス選手権大会が行われ、本校からは団体戦と個人戦で6ペアが出場しました。個人戦は振るいませんでしたが、団体戦では1、2回戦とともに2対1で勝利。勢いに乗ったチームは、その後準々決勝で国本学園（東京都）、準決勝で川崎橋（神奈川県）にそれぞれ勝利し決勝戦へと駒を進めました。決勝戦では文大杉並（東京都）に敗れましたが、冬の関東選抜大会に続き準備勝を成し遂げました。初戦から厳しい戦いでしたが、選手たちは健闘しました。ご声援ありがとうございました。



表彰式後全員で一枚

## 女子ソフトボール部

2回戦で惜敗！今後に向け期待

6月2～4日、東京都江戸川区において関東大会が開催されました。1回戦は、東京都第1代表の都



主将の普通3年1組 千賀亮佳さん (佐野南中)

立江戸川高等学校と対戦。3対0で快勝し2回戦へ駒を進めました。2回戦は、千葉経済大学付属高等学校と対戦しました。相手の強打者に先制点を奪われ、その後1点を返したもののチャンスを掴み切れず、1対2で惜敗しました。今大会での経験を糧に、今後は更に技術や精神面を磨き、チーム全体でレベルアップできるように進みます。たくさんのご声援を頂き、ありがとうございます。

## 柔道部

男子団体戦ベスト8進出

6月3・4日、栃木県プレックアリーナ宇都宮にて第63回関東



選手宣誓をする 普通3年5組 吉田功三君 (犬山口中)

高等学校柔道大会が開催されました。

本校からは団体戦1チームと個人戦で4名が出場しました。本校選手は粘り強く戦い抜き、団体戦においてベスト8という成績を残すことができました。個人戦ではあと一歩及ばずという残念な結果に終わってしまいましたが、1・2年生の思いきりの良い技が目立ち、インターハイ予選に弾みをつける大会となりました。

今後は一つひとつの課題点を修正し、より良い結果を出せるよう、日々精進していきます。

## 陸上部

過去最多16名インターハイ切符を奪取

6月16～19日、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催された関東高校陸上競技大会に、総勢35名が出場しました。

本大会はインターハイの北関東地区予選会も兼ねるため、毎年各県の代表選手による激戦が繰り広げられます。そのような中で男子



5000m競歩2位の 高橋君の力歩

5000m競歩で見事第2位入賞の総3の1高橋樹生君（毛里田中）を始め、男子1000m・2000mの2種目で普3の5茂呂格汰君（栃木南中）、女子1000mハードルで普3の5沼沼若奈さん

## 硬式野球部

レベルの高さに衝撃を受ける

5月20日から、茨城県水戸市にある水戸市民球場で第69回春季関東地区高等学校野球大会が開催されました。



水戸市民球場にて

本校は栃木県第1代表として、茨城県第2代表の霞ヶ浦高校と対戦しました。県大会での初優勝の勢いそのままに関東大会の頂点を目指し万全の準備で挑んでいきましたが、各県の優勝、準優勝チームが出場する関東大会のレベルの高さに衝撃を受けました。県大会とは違い、優位に試合を展開できず、常に相手

## 剣道部

凡事徹底

ベースで試合が進んでしまい、1対8での敗戦となりました。今大会での反省は悔しいものでもしかありません。しっかりと反省するとともに課題を修正し、選手権大会では力を出し切れるように全力で練習に励んでいきたいと思っています。御声援ありがとうございました。

6月9～11日、茨城県ひたちなか市において第64回関東高等学校剣道大会が開催され、男子団体は、創部以来初の出場を果たしました。予選リーグ初戦の埼玉栄（埼玉）に1対2と惜敗しましたが、2戦目の青梅総合（東京）には終始圧倒、3対1で勝利しました。1勝1敗という成績で残念ながら予選リーグを突破することはできませんでしたが、自分たちの力を出し



ひたちなか運動公園総合体育館にて

切れば大舞台でも充分通用するといふ自信を手にする事ができました。来年も関東大会出場を果たし、必ず予選リーグを突破します。

平成29年度全国高等学校総合体育大会

# はばたけ世界へ 南東北総体2017

— 繋がる絆 魅せよう僕らの若き力 —

第41回全国高等学校総合文化祭

## みやぎ総文2017 “世界で活躍する生徒たち”

### 女子ソフトテニス部 福田・酒井ペアがベスト32

7月26～29日、会津総合運動公園テニスコートで、全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技

(女子)が開催され、本校からは個人戦で普2の4福田真由子さん(今市中)・普3の1酒井香乃さん(杉戸中)、文3の1高橋のぞ



ストロークをする村上さん(左側)

みさん(玉造中)・普3の2村上颯季さん(妻沼東中)、普1の5大久保由希さん(下妻中)・普1の1海老根香澄さん(鬼怒中)の3ペアが出場しました。

試合は3ペアとも息の合ったプレーで3回戦を突破し、2日目に残りました。福田・酒井ペアは2日目の初戦も勝利。ベスト32という成績を収めました。チームは今年大会の経験を糧にして、来年のインターハイを目指します。

### 女子バスケットボール部 念願の初出場

7月27日から福島県福島市内の会場にて全国高校総体バスケットボール競技大会が開催されました。女子バスケットボール部にとって念願の全国大会初出場となりました。

### 柔道部

### 団体戦ベスト16

8月8～10日、福島県郡山市総合体育館にて、第66回全国高等学校総合体育大会柔道競技大会が開催されました。本校からは団体戦で6名、個人戦で6名が出場しました。

団体戦の1回戦はシードで、2回戦は京都学園(京都)と対戦しました。苦しい展開が続きましたが、普3の4長島斥弥君(足利一中)、普3の1岩瀬裕希君(協和中)が活躍。さらに主将の普3の



整列する部員たち

5吉田功二君(大山口中)がチャンスをものにし3対1で勝利しました。

初戦で、鳥根県立松江商業高校と対戦。ゲーム序盤、緊張からミスが多いスタートとなり、相手校にリードを許してしまいました。それでも、少しずつ緊張もほぐれ、持ち前のディフェンスの粘りも出て、一時は4点差まで追い上げました。しかしながら、逆転するま



大会会場にて

した。

3回戦は春の高校選手権で準優勝した大成高校(愛知)との対戦でした。各メンバーが粘り強く戦い、2対2の同点のまま代表戦となりました。時間いっぱい戦ったものの、あと一歩及ばず、団体戦はベスト16という結果となりました。

個人戦は振るいませんでしたが、出場選手のうち5名は国体本戦にも出場が決まっています。今大会での経験を生かして、更なる活躍をすることが期待されます。

### 体操部

### 3年ぶりの出場

ではに至らず、最後は69対77で涙を呑む結果となってしまいました。部員たちはこの経験と悔しさをバネに、今後の全国大会への出場と勝利を目標に、決意を新たにしました。

8月1～4日、山形県酒田市の国体記念体育館で、全国高等学校総合体育大会体操競技大会が開催され、男子個人で進1の3秋田詠大君(足利二中)が、女子個人で文2の2亀田雪乃さん(田沼東中)が、出場しました。本校としては3年ぶりの出場となりました。



競技中の秋田君

2名とも初めての全国大会ということもあり、独特の雰囲気の中で普段通りの自分の演技をすることができず、残念ながら予選を通過することが出来ませんでした。出場した2名の選手には、今大会での経験を生かし、来年はさらに高度な技にも挑戦することで、予選を突破することを期待します。

# 水泳部 一泳入魂

8月17、20日、セントラルスポーツ宮城G21プールにて、第85回日本高等学校選手権水泳競技大会が開催されました。本校からは、文3の2高村光希君（明治中）が200メートル背泳ぎ、文3の3細澤知弘君（小山中）が100メートル自由形と100メートルバタフライ、文3の4松下侃太君（毛野中）が100メートル・200メートルバタフライ、高村君・文3の2菊地秀幸君（毛野中）・松下君・細澤君が400メートルドレーリレー、高村君・細澤君・



出場した選手たち

松下君・普3の3島田恵輔君（大和利根中）が400メートルドレーリレーに出場しました。その結果、細澤君が100メートル自由形で決勝に進出し、8位入賞を果たしました。3年生の健闘は、後輩たちにたくさんものを与えてくれました。今後も、それ

## バトントワリング部 第41回全国高等学校総合文化祭

### ◆桜花爛漫

7月31日～8月2日、宮城県仙台市で行われた第41回全国高等学校総合文化祭（みやぎ総文）マーチングバンド・バトントワリング部門に出場しました。

31日のパレード部門では、茨城県立大洗高校マーチングバンド部の演奏に合わせ、仙台駅近くの宮城野通りをパレードしました。生徒たちは、沿道に集まった沢山の方々からの拍手や声援に、笑顔で応えながら演技しました。8月2日のバトントワリング部門では、宮城県の戦国武将である伊達正宗に関する曲（独眼竜正宗）に乗せ、



ポーズをとる部員たち

扇子を片手に「桜花爛漫」のタイトルで演技しました。県内5校合同34名で、2月から毎月2回の合同練習や合宿を経て、演技を合わせて来ました。揃えることに一番苦労しましたが、本番では、学校の壁を越えて気持ち一つにして、これまでに一番良い演技を披露することができました。

## 陸上競技部 過去最多となる16名が参加

7月29日～8月2日、山形県天童市NDソフトスタジアムにおいて、全国高校総体陸上競技大会が行われました。今年は、男子8名、女子8名、計16名の参加となりました。陸上部としては過去最多となる参加人数でした。

本校は、男子4×100メートルドレーリ、女子4×100メートルドレーリを始め、7種目に出場しました。



スタートを切る茂呂君

大会は、近年まれにみる高いレベルとなり、どの種目も大苦戦を強いられました。選手たちは善戦しましたが、残念ながら予選敗退となり全国の壁を感じることもありました。

この経験を生かし、来年は全国大会で勝負できるように頑張ってください。

## ★世界で活躍する生徒たち★

### 社交ダンス 全国で入賞指定強化選手として活躍

文1の2稲村百香さん（古河一中）は7月30日に開催された第12回オールジャパンジュニアダンススポーツカップに出場し、ユース

ラテン第3位、ユーススタンダード第4位という素晴らしい結果を残しました。

4歳から社交ダンスを始めた稲村さんは中学生の時から指定強化選手として活躍しています。今後国内のみならず世界での活躍が期待されます。

遠征では、他チームとの合同練習や試合を通して、レベルの高いプレーを見て、自分に足りないものを学んだようです。6日間の貴重な遠征体験から、選手としてだけでなく、人としても大きく成長することができたようで、今後の活躍にも期待が膨らみます。



ユニフォーム姿の鈴木さん

### バレーボール ハワイ海外遠征

平成29年度関東私立高等学校男女バレーボール選抜ハワイ海外遠征（7月24～29日）に、本校から文3の2鈴木みのりさん（結城東中）が参加しました。

- 出場メンバー —
- △男子▽
    - 普3の1 橋本 終 君（栃木南中）
    - 普3の2 藤本 芳樹 君（今市中）
    - 普3の4 山口 大雅 君（大谷中）
    - 普3の5 茂呂 終 君（栃木南中）
    - 普3の1 高橋 樹生 君（毛里田中）
    - 文2の1 中谷 航 君（国分寺中）
    - 普1の2 吉田 龍生 君（佐野北中）
    - 普1の3 稲垣 優一 君（三和中）
  - △女子▽
    - 普3の2 成瀬 絢音 君（佐野北中）
    - 普3の4 南部 千尋 君（栃木西中）
    - 普3の5 笹沼 千尋 君（佐野北中）
    - 文3の1 倉林 夢乃 君（山辺中）
    - 文2の1 深澤 里菜 君（栃木南中）
    - 文2の4 飯田 亜弥 君（田沼西中）
    - 普1の4 関根 ことる 君（三和中）
    - 普1の5 福田 捺巴 君（佐野北中）

# 本校舎トピックス

## 文理進学コース 学習合宿

7月28日から、2泊3日で文理進学コース1年生対象の学習合宿が行われ、112名が参加しました。猛暑の続く足利を離れ、雄大な自然に囲まれた志賀高原ホテル一乃瀬にて、気持ちを新たに学習に取り組みました。

合宿では、集団生活の中で協調性を育み、国語・数学・英語を中心に基礎学力の向上に努めました。朝8時から夜10時まで、本校職員

による授業を受けたり、自習に励んだり長時間にわたる学習に取り組みました。質問コーナーでは、多くの生徒が弱点の克服に努めていました。仲間たちと切磋琢磨して学習に励み、実りある時間となりました。



学習の様子

## 新入生歓迎球技大会 ドッジボール大会

5月30日、真夏のような暑さの中、「新入生歓迎球技大会」が開催されました。今年度は、新体育館と第2体育館、そして校庭の三



体育館での試合の様子

ヶ所に分かれて、試合を行いました。今年の球技大会では、これまでの予選リーグを勝ち抜いたチームによる決勝リーグトーナメント方式を改め、敗者復活制も設けた全試合トーナメント方式が採用されました。

試合は、男女別学年別で行われました。どの会場でも白熱した試合が繰り広げられ、ボールが投げられるたびに湧き上がる歓声と悲鳴、そして応援の声が周辺に響き渡りました。各ゲームとも大いに盛り上がり、勝敗にかかわらずチームが一致団結し、クラスのメンバーの気持が一つになった1日でした。

つたようです。今後も合宿で身に付けた学習習慣を継続し、進路実現に向けて日々努力していくことを期待します。

## 総合選択コース ふるさと学習

6月7日、総合選択コース1年生対象のふるさと学習が実施されました。ふるさと学習とは、地元足利について学ぶ行事です。スクールバスを利用して、足利三名所である史跡足利學校・鏡阿寺、あしかがフラワーパークと足利の伝統芸能である八木節を体験できる八木節会館を見学しました。

翌日、TVスタジオで運動部の壮行会とともに球技大会の表彰式が行われました。各学年の優勝クラスは、校長先生から真新しいトロフィーと賞状を受け取り、感動を新たにしました。

平成29年度 球技大会入賞クラス

学年	順位	男子	女子
1学年	優勝	普通コース4組	普通コース1組
	準優勝	普通コース3組	総合選択コース1組
	第3位	普通コース5組	文理進学コース1組
2学年	優勝	普通コース3組	普通コース2組
	準優勝	普通コース2組	普通コース3組
	第3位	普通コース1組	文理進学コース4組
3学年	優勝	普通コース5組	普通コース5組
	準優勝	普通コース1組	文理進学コース2組
	第3位	文理進学コース4組	普通コース1組



八木節を踊る生徒たち

歴史を改めて学ぶことができました。あしかがフラワーパークでは、きれいな花々の咲く景色を写真に撮るなど、和やかな一時を過ごしました。

八木節会館では、足利発祥の八木節について学び、踊りや太鼓、笛、鉦の演奏の仕方を学んで踊ったり、演奏したりすることができました。親切に教えていたこともあり、楽しく伝統芸能に触れることができました。



足利学校にて

生徒たちは、足利の歴史、文化を学び、地元足利の魅力を感じることができました。クラスの親睦も深まり、とても有意義な1日となりました。

## 商業コース 検定合格状況

「カチカチ・カシヤカシヤ」教室からは今日も電卓のキーを打つ音やパソコンのキーボードを叩く音が聞こえてきます。生徒たちは各種検定試験に合格するために授業中だけでなく、放課後の補習授業にも真剣に取り組んでいます。

1年生は簿記検定と電卓検定、2・3年生は簿記や、電卓の検定に加えてビジネス文書(ワープロ)検定や情報処理検定にもチャレンジしています。検定試験に合格することが自信にもつながり、他教科の学習や生活面でも意欲的に取り組むことが出来ているようです。

平成29年度1学期検定試験合格状況

検定名	段位	1級	2級	3級	4級
全商ビジネス 文書検定(ワープロ)	人数	2	18	37	49
	合格率	8%	40%	73%	82%
全商簿記検定	人数	会計2	7	35	
	合格率	29%	27%	67%	
全経簿記検定 (基礎簿記会計)	人数				66
	合格率				92%
全経電卓検定	人数	1	9	11	6
	合格率	5%	27%	44%	50%



# 富田キャンパスピックス

## 学習合宿

1、2年生  
志賀高原

7月28～30日、長野県の志賀高原で、1、2年生の学習合宿が実施されました。

1年生は、高校生活で初の宿泊を伴う学校行事であるこの学習合宿を、不安に思いつつも楽しみにしていたようです。普段の学校とは異なる大自然の中で行った学習に気分も新たに、集中して取り組んでいました。

2年生は、5教科で総まとめテストを行ったり、本校職員による講座を受講したりして、時間をかけて苦手科目の克服に取り組みました。

自分で学習計画や目標を立てて、その達成に向けて努力したことは、生徒たちの自信にもつながったと思います。



大教室にて

3年生  
伊香保

7月27～29日、伊香保にあるホテル如心の里ひびき野で、富田校舎3年生の学習合宿が実施されました。



数学のセンター対策授業

今回の学習合宿では、代々木ゼミナールから国語・英語・数学の3名の先生方をお招きして、主にセンター試験対策の授業をして頂きました。国公立大学に合格するためにはセンター試験でいかに高得点を得られるかが鍵になるということもあり、生徒たちはいつも以上の緊張感を持って授業に臨んでいました。

今回の学習合宿で学んだことは、これからの大学入試に向けて、とても価値のある内容でした。全ての生徒が、第一志望の進学先に合格できることを期待します。

## 部活動紹介

### ◎ダンス同好会

7月13日、シーガルホールでダンス同好会による発表会が行われました。今回は3年生にとつて最後の発表となるため、気合が入り、連日遅くまで練習に励んでいました。同好会会長の進3の2島田鷹君（大泉北中）と副会長の特3の2飯塚美咲さん（足利西中）、特3の1金子愛菜さん（清流中）を中心に、2年生8名、1年生7名の計18名で今回の発表を行いました。趣向を凝らした様々なダンスを披露し、観客を魅了していました。ファイナレは全員でダンスを踊り、会場全体が盛り上がりました。



全員でダンス

ダンス経験者も未経験者も、上級生も下級生も、みんなが一つになれた素晴らしいステージでした。

### ◎合唱部

7月18日、シーガルホールで、合唱部によるミニコンサートが行われました。振り付けやソロを交えながら全6曲を披露しました。特に、このコンサートをもって引退する3年生による「Pride」は6人のハーモニーが会場を感動の渦に巻き込みました。最後はそれぞれの思う役になりきった部員と観客全員で「民衆の歌」を

歌い、大喝采の中、幕を閉じました。演奏後には、3年生の引退に涙する部員や歌いきってほっとした表情の部員の姿がありました。部長の特3の2大久保朱音さん

### ◎茶道部「お茶会の開催」

7月13日、富田校舎の亘日の間で、茶道部員による「お茶会」が開催されました。このお茶会は、3年生最後の校内発表会ともなっており、多くの生徒や先生方がお客様として参加してくれました。

部員たちはこのお茶会に向けて、熱心に準備をしてきました。お点前を披露する3年生は、昨年度から細かい作法を完璧にするよう稽古し、2年生は、初めて茶道に触れる1年生を丁寧に指導して頂きました。浴衣でお客様におもてなしをするため、着付けや所作も5月から練習しました。当日は全員が



シーガルホールにて

（太田西中）は「人との繋がりが、自己表現、向上心、チャレンジ精神など人生に役立つことを音楽からたくさん学びました。仲間と味わった感動は一生の宝です。私は合唱部が大好きです。後輩たちがさらに飛躍してくれると確信しています。」と語っていました。



亘日の間に

浴衣を着た姿が茶室に映えて、とても華やかでした。参加した生徒からも「抹茶がとてもおいしかった」「日本文化の雰囲気素敵だった」などの声があり、盛況に終わることができました。

# スーパー・サイエンス・ハイスクール活動報告

## SSH研究発表会

6月17日に、富田校舎のシールホールでSSH生徒研究発表会が行われました。様々な研究テーマでSSH5年目の研究成果を発表しました。

### カラス

カラスについての研究は、今年の3年生が新規で始めたもので、宇都宮大学の杉田教授のご指導のもと、研究を進めてきました。

「カラスの視覚と嗅覚について深く知る」を目的に実験を行いました。視覚や嗅覚を制限した実験を行った結果、カラスは優先的に視覚を用いて餌を得ており、視覚的



発表の様子

### 水陸両用車

生徒たちは、自ら目的に応じた実験内容を考え、実験データを考察したことで、論理的に考える力を伸ばすことができました。

水陸両用車の開発は平成27年度からの継続研究であり、今年で3年目になります。1年目に設計図の作成に取り掛かり、2年目はそ



水中走行の様子

の設計図を改良し、部品の調達や組み立てまで手掛けました。しかし、防水や水陸におけるモーターの切替、強度の確保など課題がたくさんあり、実際の走行までには至りませんでした。今年度は、再度設計図を見直し、新たな部品の調達も含め、生徒一人ひとりの役割分担も考え直した結果、実際に

陸上でも水上でも走行させることができました。継続研究ゆえの大きな成果を上げることができました。

### iPS細胞

iPS細胞に関する課題研究は、平成26年度からの継続研究となります。これまでの研究で、ヒツジの子宮内胎児を取り出す手術を見



実験室にて

### 神戸大会へ参加

8月9・10日に神戸市にある神戸国際展示場で行われた、平成29



ブースにて

学したり、「iPS細胞」における正しい知識や倫理観などを学んだりしてきました。それらを踏まえた今回の研究目的は、ヒツジ移植手術に関する研究の精度向上を図るための新しいアイデアを提案することでした。生徒たちは様々な文献や学会誌から新たな可能性を考えたり、手術におけるヒツジへのストレスを軽減できるような方法を模索したりしました。発表は、生徒たちの希望により英語で行われ、充実したものとなりました。

### 小麦粉の種類とカビ

小麦粉の種類（グルテンの含有量）により、カビの繁殖にどのような影響があるかを調べることを

年度SSH生徒研究発表会に参加しました。この大会では、日本と海外の高校、関連機関を合わせた250組が参加し、それぞれの研究成果を披露しました。

本校は、渡良瀬遊水地で見られる絶滅危惧植物の一つである、マイヅルテンナンショウの生長や繁殖に関する研究成果を発表しました。5分間のアピールプレゼンを行ったり、遊水地でみられる他の貴重な植物を紹介したりと工夫を凝らして臨みました。

残念ながら賞には届きませんでしたが、生徒たちは他校生との交



講評して頂いた  
宇都宮大学 諸星先生

目的として、毎日シャイレのカビの繁殖を確認し、たぐさんのデータをとりまとめました。しかし、グルテン濃度によるカビの広がりグラフに相関関係を見ることはできませんでした。発表会前日まで、群馬大学理工学部の大澤研二教授に助言を受けて研究し、培地作成工程で水分量が差が生じたか、2種類の小麦粉の混ぜ方にも問題があったのではないかという推論を導くことができました。



ポスターセッションの様子

流や、大学の先生方の指摘から、常に探求し続ける姿勢を学び、非常に有意義な2日間となりました。

# 白鷗大学だより

PLUS ULTRA —さらに向こうへ。

## トビタテ！留学JAPAN派遣留学生 （経営学部・末村さん）

文部科学省主催のトビタテ！留学JAPAN「地域人材コース」の制度を利用した、大学コンソーシアムとちぎが実施する「とちぎグローバル人材育成プログラム上級コース」の派遣留学生に、経営学部3年の末村友季奈さんが選ばれました。本学から選出されるのは初めてで、8月中旬より1年間、米国インディアナ州のトライン大



本学から初選出された末村さん

学に交換留学生として派遣されます。末村さんは「単に英会話を学ぶのではなく、ビジネスで必要な英語力やコミュニケーション力を身につけたい。ゼミではグローバル・マネジメントを研究し、担当した企業は、ウォルマートストアーズ。留学先では、フィールドワークによる企業研究を実践したい。店舗でのヒアリング調査活動などを経て、さらに研究を深めよう」と計画している。派遣先のインディアナ州は栃木県の姉妹県であるため、栃木の魅力を発信し、地域間交流が活性化するようなきっかけを作りたい」と抱負を述べました。

## 東キャンパス新棟建設

法人創立100周年記念事業の一環として建設が進む東キャンパスの新棟と体育館で、基本構造の完成を祝う上棟式が7月12日に執り行われ、関係者全員で工事の無事を祈願しました。上棟行事では関係者が見守るなか、新棟最上部の鉄骨が取り付けられました。新棟と体育館は2018年度に



8階建ての基本構造が完成した新棟(2017年7月12日撮影)

竣工。既存棟から図書館を新棟に移設し、同年4月より図書館の利用を開始します。その後、既存棟の一部を改装。本キャンパスからの移行期間を設けて、経営学部と本部機能を移転します。来年9月からの後期授業スタートに合わせ、すべての利用が開始される予定です。経営学部と法学部の全学年が学ぶほか、知と情報の拠点として、地域に開かれた大学に生まれ変わります。



新棟の完成イメージ

## 学校感染症をテーマにしたカレンダーを製作

子どもたちへの感染症予防教育に少しでも役立ててもらおうと教育学部の岡田ゼミナールが「うつる病気のひみつがわかるカレンダー」を700部製作し、地域の保育園や幼稚園、小中学校に無料配布しました。カレンダーは、岡田晴恵教授の「学校感染症の健康・保健教育法」ゼミナールの学生12人が「研究の成果を地域の子どもたちに役立てられないか」と考えて制作したもので、今年初め



製作されたカレンダー

つ紹介し、その症状と予防策を示しています。また、その月の裏

面には、より詳しい解説も記されていて、学校現場で使いやすいようにとカレンダーは4月始まりになっています。教育学部では、専門特講科目として「学校感染症の対処法」を開講。感染症免疫学を専門とする岡田ゼミナールでは、さらにその研究を深めています。本学では将来、小中学校や幼稚園の教員、保育士をめざす学生たちが、感染症に対する正しい知識と、対策や予防法を学び、教育や保育現場で力を発揮できるよう期待しています。

## 【東キャンパス新棟建設状況】

- 2月 新棟・体育館が竣工
- 3月 既存棟の図書館が新棟へ
- 4月 新棟図書館の利用開始
- 4～7月 既存棟内を一部改装
- 8月 経営学部・本部機能を新キャンパスに移転
- 9月 後期授業スタートに合わせて全面利用開始

## 白鷗大学へのアクセス



# PTAだより

学校と共に歩むPTAへ PTA会長 西場 伸一



PTA会員の皆様、日頃のPTA活動に多大なるご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。4月に608名の新会員の皆様をお

迎えし、PTA入会式、PTA総会、支部懇談会と、今年度も重要な行事を無事終了することができました。これもひとえに会員の皆様のご協力と、各支部の役員の皆様のお骨折りの賜物と、改めて感謝申し上げます。

支部懇談会では、今春の大学進学

され、大勢の卒業生の皆様の夢がかなえられたことを実感いたしました。また在校生の皆様活躍として、運動部の関東大会出場やインターハイ出場などの報告もあり白鷗生の活躍が期待されました。このような生徒の皆様活躍の陰には、日々ご指導を下さる教職員の皆様御苦労があるものと心より感謝申し上げます。

現在のように社会環境や生活環境が大きく変化する時代には、私たちPTA会員も私学教育の特徴

や教育方針に信頼を寄せ、教職員の皆様と一緒に、お子様たちの将来の夢がかなえられるよう活動をして行く必要があるのではないかと考えております。お子様たちにかきめ細かく接して行く為には、3年間通学する学校の基本方針をしっかりと理解し、PTAや学校が開催する支部懇談会や保護者会にご参加頂くことが一番の早道かと思えます。これからもPTA会員の皆様には、学校とPTAと共に歩んで頂ければ大変ありがたい

ラえもんの大切なメッセージ」を読み取ったり、地歴公民科では、18歳選挙権の導入により、どんな選挙に参加できるのか学んだりしました。また、理科では実験室を

## 一日体験学習

8月26・27日の2日間、中学3年生を対象に「一日体験学習」が開催されました。両日で生徒・保護者合わせて、本校舎2647名、富田キャンパス2156名、合計4803名という過去最多の参加があり、大盛況のうちに幕を閉じました。

### 本校舎

本校舎では、TV放送を利用して、来年度のコース再編に伴い新たに開設される総合進学コースや入学試験、そして部活動の実績などについての説明がありました。次に生徒会による学校生活や施設などの紹介がニュース報道形式で



表現主体の英語の模擬授業

なされ、参加した中学生や保護者の方も熱心に視聴されていました。その後の模擬授業では、電気分解を利用して針金で書道をする理科の実験や、歌からリスニングを学ぶ英語の授業など、高校での授業に興味・関心を持ってほしいという本校の職員たちの思いで準備された30の講座では、楽しい授業が繰り広げられました。

模擬授業終了後には、部活動を

自由に見学し、新体育館で行われた剣道部やボクシング部等の迫力あるパフォーマンスなど、さまざまな部活動を

### 富田校舎

富田校舎では、「富キャンライフ」の紹介と14種類の模擬授業が行われました。

「富キャンライフ」では、富田

校舎のコース紹介や昨年度の進学実績などの説明がありました。また、生徒会による学校生活紹介では、朝は7時30分から、夜は20時まで自習室を利用できることや富can祭やブリティッシュヒルズへの語学研修といった行事の説明がありました。

模擬授業では、様々な講座が開講されました。国語科では、「下



視聴覚室にて

なつたのではないかと思います。

校内見学では、栃木県建築景観賞を受賞した6号館を中心に各施設を見学し、来校した中学生・保護者の方から「一日体験学習に参加して良かった」との声も頂きました。

## 編集後記

ことと思います。最後にこれからもPTA活動に御協力を頂けますよう御願ひ申し上げます。



AI(人工知能)・iPS細胞・クローン技術・宇宙開発、そしてICBMやJアラート。これらはすべて科学技術の産物です。科学技術が発達するためのエネルギー源は、「こんなことができた」というほんの少しの希望やちよつとした欲張りな夢です。それが叶えられた時、多くの人が、幸せを感じるか脅威を感じるかは紙一重です。どちらの結果を導くかは研究をする科学者や利用する人の倫理観です。

JAXAの講演や科学館の見学など、教科書の先にある新しい科学事情に触れることから始まりました。科学に対する興味・関心だけでなく、科学の目も育まれてきています。多くの人の幸せに貢献する科学者たちの誕生が心待ちにされます。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。  
編集・校報委員会  
発行・白鷗大学足利高等学校  
足利市伊勢南町三の二  
0284-4110890  
制作・(有)エイプロセス  
発行日・平成29年9月30日